

# 横浜栄楽クラブ

## 子孫から見た咸臨丸の歴史

2015年8月22日(土)／横浜市栄区 栄公会堂

曾祖父 小杉雅之進は、当時の最先端技術であった蒸気機関を長崎海軍伝習所で学ぶチャンスに恵まれ、咸臨丸太平洋横断時の蒸気方手伝、開陽丸の蒸気方一等・軍艦役という立場で激動の幕末維新を渡り歩きました。

曾祖父 雅之進の生涯を知るにあたり、咸臨丸建造のきっかけとなった黒船来航から木古内沖で座礁沈没までの19年間の史実を現地取材などを通じて積極的に検証しております。この19年の間に開陽丸の歴史が重なります。

19年間の歴史を語らせていただくに際しての私なりの分類が右表の34項目となりました。今回は、咸臨丸の歴史について◎印の項目を中心に多数の画像を使いながら活動を通じて得られた実話／エピソードなどを交えて熱っぽく語らせていただきます。しかしながら、限られた時間内での講演となりますので、簡単な説明で済ませる場面がありますことを予めご了承ください。

激動の幕末維新、明治維新を迎えて英雄から一転して幕府への貢献を封印しなければならなかった複雑な思いをみなさんと共に顕彰したいと思っています。終了後、時間がありましたら、ご希望の項目を語らせていただきます。皆様と共に有意義なひと時を過ごさせてください。

【小杉雅之進略歴】 小すぎ まさのしん、  
天保14年10月1日〔1843/11/22(水)〕生、  
長崎海軍伝習所三期生、  
咸臨丸太平洋横断時 蒸気方手伝、  
小笠原派遣時 朝陽丸蒸気方、  
戊辰戦争勃発時 開陽丸蒸気方一等、  
品川脱出時 開陽丸軍艦役、蝦夷共和国 江差奉行並、  
幽閉中に麦叢録を執筆、  
政令により 小杉 雅三(まさろう)に改名、  
民部省に仕官し運輸行政担当、退官後 大阪商船勤務、  
1909(明治42)年8月21日没(66歳)、  
壽嶺院殿量遠日謙居士

【自己紹介】  
小杉 伸一<こすぎ しんいち>、横浜市在住、  
1952(昭和27)年7月生、63歳、

### 【所属団体】

開陽丸子孫の会、日蘭協会、オランダ友好協会、函館碧血会(函館市)、開陽丸友の会(江差町)、咸臨丸とサラキ岬に夢みる会(木古内町)、横須賀開国史研究会、横浜黒船研究会、中島三郎助と遊ぶ会(横須賀市)、21元氣会(横浜市)、咸臨丸子孫の会、

- ◎ 01.黒船来航〔1853〕
- ◎ 02.世界のうごきと日本の対応
- 03.長崎海軍伝習所〔1855〕
- ◎ 04.咸臨丸建造〔1857〕
- 05.軍艦操練所〔1857〕
- 06.日米修好通商条約〔1858〕
- 07.亜墨利加國別船仕立之儀申上候書
- 08.幕府遣米使節護衛隨伴艦〔1859〕
- ◎ 09.太平洋横断乗組員名簿
- ◎ 10.水主
- 11.咸臨丸搭載物資
- ◎ 12.咸臨丸大圏航路<往路航海>〔1860〕
- ◎ 13.船舶信号旗
- ◎ 14.咸臨丸サンフランシスコ入港〔1860〕
- ◎ 15.メアアイランド米海軍工廠
- ◎ 16.ブルック大尉
- ◎ 17.コルマ墓地
- 18.咸臨丸ハワイ寄港<復路航海>
- 19.咸臨丸神奈川警備
- 20.咸臨丸対馬派遣〔1861〕
- 21.咸臨丸小笠原派遣〔1862〕
- 22.幕府オランダ留学生〔1862〕
- 23.咸臨丸塩飽寄港〔1862〕
- 24.生麦事件〔1862〕
- 25.神戸海軍操練所と禁門の変〔1864〕
- 26.開陽丸建造〔1865〕
- 27.咸臨丸船籍変更<軍艦⇒運搬船>〔1866〕
- 28.鳥羽伏見の戦い<戊辰役勃発>〔1868〕
- 29.幕府脱走軍品川脱出〔1868〕
- 30.山本長五郎<清水次郎長>〔1868〕
- 31.幕府脱走軍 寒風沢・折浜〔1868〕
- 32.幕府脱走軍 鷲ノ木・松前・江差〔1869〕
- 33.開陽丸座礁沈没〔1868〕
- 34.五稜郭の戦い<戊辰役終結>〔1869〕
- 35.咸臨丸 開拓使運搬船〔1869〕
- 36.片倉小十郎家臣団〔1871〕
- ◎ 37.咸臨丸最後の航海〔1871〕